

【 砥部分校 人権だよりについて 】

令和6年度、2学期の人権だよりを発行します。

今学期は2年生人権委員が担当です。今回のトピックは以下の通りです。

- 『 坂村真民さんの詩画を通して 』 【 2年生 人権活動報告 】
- 人権・同和教育ホームルーム活動報告 【 全学年 】



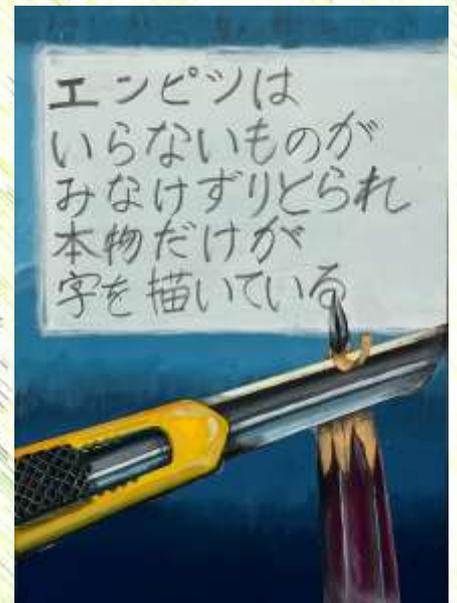
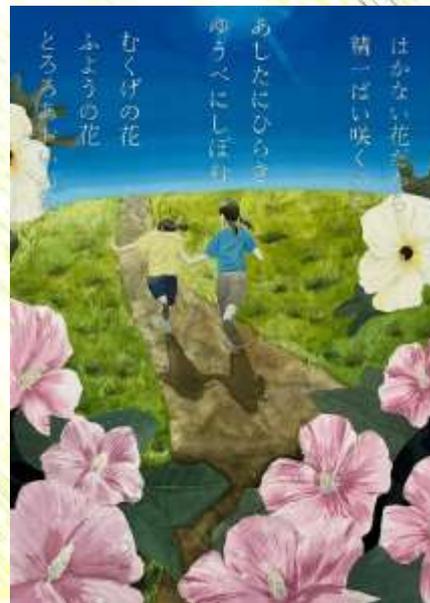
【 2年生人権委員 『 坂村真民さんの詩画を通して 』 2年生 人権活動報告 】

私たちは、昨年度真民さんの詩で詩画を制作し、自分らしい生き方について考えを深めました。制作を進めていくうちに「この作品を見てくれた人にも今を大切に生きてほしい」と思うようになりました。

制作した作品は昨年の愛媛県美術館（卒業制作展・進級制作）、砥部町役場（砥部町芸術文化フェスタ）、砥部中学校で展示を行い、広田小学校の児童さんたちとも詩画を通して将来の夢について語り合いました。

真民さんの詩を知らなかった人たちにも知っていただくことができました。

この活動を通して様々な人との繋がりを体感することができました。このような人の繋がりを生む真民さんの詩の偉大さを実感しました。私たちが真民さんの詩から勇気や優しさをもらったように、どこかで私たちの詩画を見てくれた人たちの気持ちに寄り添うことができたら嬉しいです。



【 2学期の人権・同和教育ホームルーム活動 】

1年【 自分らしく生きる 子どもの人権 】

今回の人権・同和教育ホームルーム活動では「身近な人権」について特に、「子どもの人権について」学習しました。

最初に「子どもと大人」について様々な視点をもって、話し合いました。まず、班に分かれ活発に話し合い、クラスで共有しました。

「年齢が18歳になったら大人」や、「働き出したら大人」というような意見のほかにも、「年齢や身体が大人になったとしても精神的に幼い人は大人と言えるのだろうか」という意見も出ました。このような意見を聞くと、自分にはなかった視点ですが、確かに共感する意見もありました。「子どもの人権」について、このような視点で、みんなと意見を出し合い、活発に話し合い、このテーマについて真剣にみんなと話し合えてよかったです。



←
1年生



←
2年生



↓ 3年生

2年【 水平の旗ひるがえる 】

私たち2年生は、まず「解放令」について学び、「解放令」が出された後もなぜ部落差別が残ったのかを考えました。そして、全国水平社創立までの流れと「水平社宣言」に込められた思いを考え、話し合いました。また、愛媛でも差別解消に向けて取り組んだ先人がいることも知りました。

この授業を通して、差別と闘った先人たちの苦労や頑張りがあって、今があるのだと思いました。教室の雰囲気いつもの穏やかさから変わり、真剣で真面目な態度で取り組んでいたのがよかったです。

授業の最後に、平等な社会を実現するために自分には何ができるかを一人ひとりが考えました。「他人から聞いた情報を鵜呑みにするのではなく、自分の目で見つめた情報を信じる。決めつけない。」「高校生の自分にできることは限られているのかもしれない。でも他人を動かすことはできなくても、自分の考え方を考えてみることはできると思った。水平とは何か差別とは何か考え続けたい。」「おかしいと思ったことには声をあげる。」などの意見がありました。

3年【 結婚差別の解消に向けて —3年間の学びを振り返る—】

3年生は「結婚差別」について学習しました。

私たちは1年生のころからこのホームルーム活動を人権委員とその都度募る「友の会」と呼ばれるメンバーで運営してきました。今回もこのメンバーを中心に準備し、予習して、当日を迎えました。

まず、結婚差別を受けた方の手記を朗読し、その内容について班に分かれて話し合いました。内容は、居住区や出生によって結婚を反対された方が、周囲の人の協力を得て結婚した体験談でした。前回の職業差別に引き続き、これから私たちにとって身近になってくだろう問題について、各班がしっかり考えることができました。住んでいるところや出生を問い、それによって差別され、結婚を反対されることがあってはならない。その差別自体が間違っているという認識がみんなの共通理解としてあったので、これまでの人権・同和教育ホームルーム活動での学びが生かされていると感じました。

高校生活最後の人権・同和教育ホームルーム活動で、皆がいつも通り、真剣に取り組んでいる姿がとても素敵でした。

3年間を通して色々な人権問題について学んできました。みんなと一緒にたくさんの学びを深められて本当によかったと思っています。卒業しても学んだことを忘れないで欲しいです。